



vol.6 山梨英和大学

# 学生の明るい声と実践力で いつまでも富士山を 世界遺産に

## 富士山保全協力金 呼び掛けボランティアとして 学びを実践

山梨英和大学人間文化学部人間文化学科では、人間文化を理解する基礎基本を身に付けるため、言葉の理解と表現方法の習得、コミュニケーション能力の習得、人間の心の理解など、幅広く学ぶことを目指しています。

また本年度、大学での学びをより深めていくために、ボランティア活動や地域連携活動と連動させた授業「サービスマーケティング」が開講しました。

8月1日には、サービスマーケティングを受講している学生のうち、観光や富士山に関心を持った23人が、登山客でにぎわう富士山五合目と吉田口六合目で、世界遺産富士山を後世に引き継ぐため、登山者

から協力をいただく富士山保全協力金の呼び掛けボランティアを行いました。

大学では地域を学ぶ『山梨学』にも積極的に取り組んでいて、今回の活動に先立ち、学生たちは、富士山の自然、歴史、文化などについても理解を深めてきました。4班に分かれて登山者への声掛けを開始した学生たち。最初は緊張した面持ちでしたが、徐々に明るく大きな声で協力を呼び掛けるようになり、その声に応えるように、登山者が次々と協力金受付所に立ち寄り、学生たちに協力金を手渡していききました。

人や富士山に関わる中で「もっと自分たちにできることをしていきたい」と学生たち。活動に臨む真剣な姿勢と、地域の課題を見つめるまなざしは、山梨の魅力を広げていく可能性を感じさせてくれました。



協力金の説明を受け、呼び掛けを開始



登山者の協力を得られ、感謝の笑みがこぼれます



外国人登山者に協力金の趣旨を説明



人とのふれあいを重ね  
学生たちは人間的に大きく  
成長しています。

学生が地域で活躍できる人材になるためには、地域のことを学ぶだけでなく、現場に出て体験することが大切です。自ら経験を重ねる中で県民として地域貢献できる力を身に付けてほしいです。多くの活動に参加している学生ほど、人間的にも確実に成長していると感じます。これからも学生たちの将来につながる活躍をサポートしていきたいと思ひます。



人間文化学部人間文化学科  
黒田 浩司 教授

観光客の皆さんに山梨を好きになってもらえるよう  
コミュニケーション能力を高めたい

予想以上に外国人観光客が多く、驚きました。これからは英語と中国語で日常会話ができるくらいの語学力が必要だと感じました。

最初は照れがあり、なかなか声を掛けられず、呼び掛けの難しさを実感しました。でも山梨の良さをもっと伝えていきたいので、こうした経験を積んでいきたいです。



人間文化学部人間文化学科4年  
齋藤 大樹さん 雨宮 啓樹さん

たくさんの出会いや経験から得た実践的な学びが  
夢につながっていきそうです

私たち若い世代が世界遺産富士山の今後を考えることの大切さを感じて、今回のボランティアに参加しました。

人や地域と関わることは、とても楽しいです。サービスマーケティングのさまざまな活動を通して、自分が生まれた地域に貢献したいという気持ちがより大きくなりました。



人間文化学部人間文化学科4年  
功刀 愛理さん 武部 美沙貴さん

富士山保全協力金の協力者に配られる  
協力者証(缶バッジ)と富士登山アドバイスブック。  
また、協力金受付所で外国人の希望者に配布している  
Wi-Fiカード(左から)

